

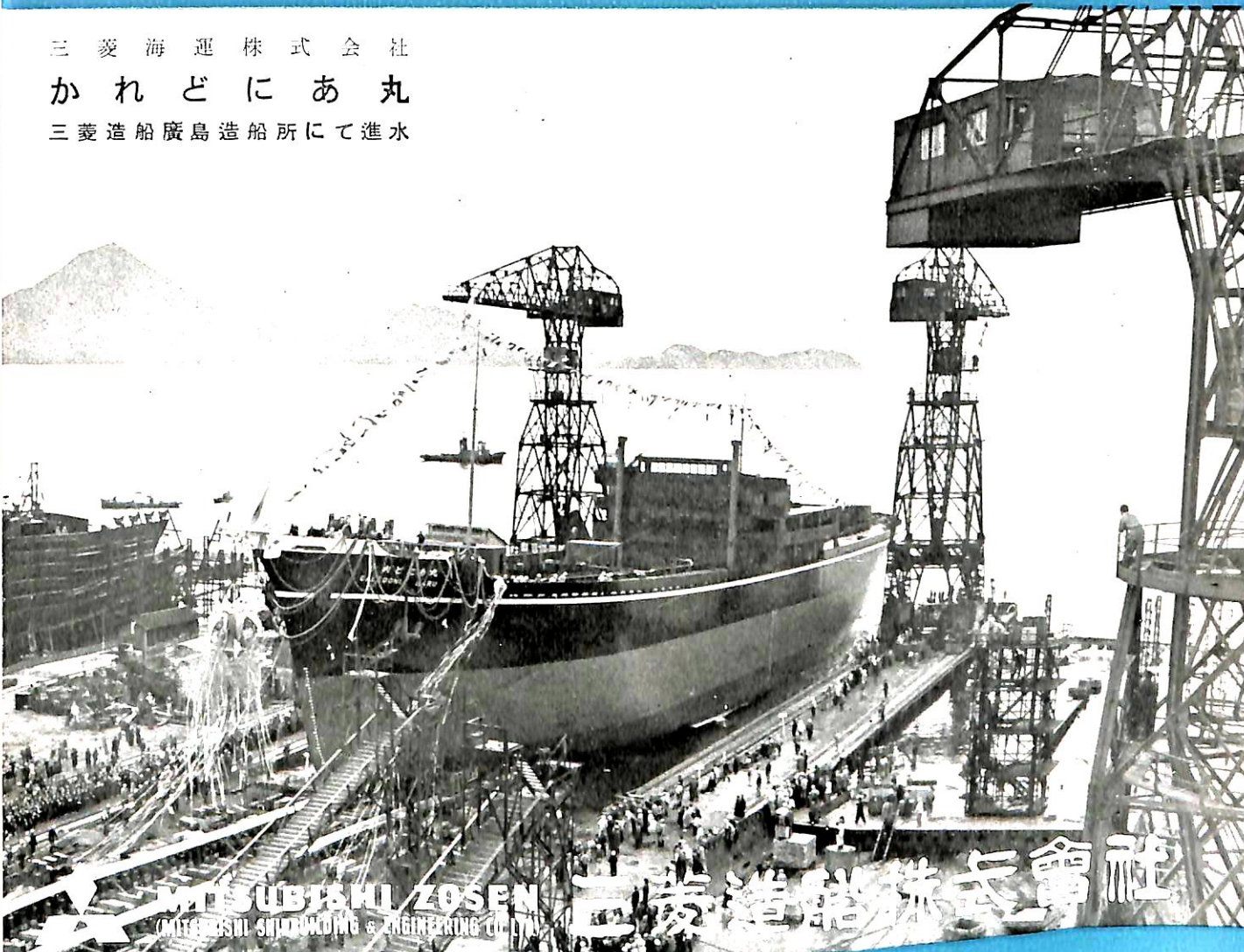
運輸省船舶局監修 造船海運綜合技術雜誌

昭和三十三年五月五日印刷
昭和三十三年五月十日發行
昭和三十三年五月二十日發行
昭和三十三年五月二十五日發行
昭和三十三年五月三十一日發行
昭和三十三年六月五日發行
昭和三十三年六月十日發行
昭和三十三年六月十五日發行
昭和三十三年六月二十日發行
昭和三十三年六月二十五日發行
昭和三十三年六月三十日發行
昭和三十三年七月五日發行
昭和三十三年七月十日發行
昭和三十三年七月十五日發行
昭和三十三年七月二十日發行
昭和三十三年七月二十五日發行
昭和三十三年七月三十日發行
昭和三十三年八月五日發行
昭和三十三年八月十日發行
昭和三十三年八月十五日發行
昭和三十三年八月二十日發行
昭和三十三年八月二十五日發行
昭和三十三年八月三十日發行
昭和三十三年九月五日發行
昭和三十三年九月十日發行
昭和三十三年九月十五日發行
昭和三十三年九月二十日發行
昭和三十三年九月二十五日發行
昭和三十三年九月三十日發行
昭和三十三年十月五日發行
昭和三十三年十月十日發行
昭和三十三年十月十五日發行
昭和三十三年十月二十日發行
昭和三十三年十月二十五日發行
昭和三十三年十月三十日發行
昭和三十三年十一月五日發行
昭和三十三年十一月十日發行
昭和三十三年十一月十五日發行
昭和三十三年十一月二十日發行
昭和三十三年十一月二十五日發行
昭和三十三年十一月三十日發行
昭和三十三年十二月五日發行
昭和三十三年十二月十日發行
昭和三十三年十二月十五日發行
昭和三十三年十二月二十日發行
昭和三十三年十二月二十五日發行
昭和三十三年十二月三十日發行

船の科学

VOL. 10 NO. 5 MAY 1957

三菱海運株式会社
かれどにあ丸
三菱造船広島造船所にて進水



MITSUBISHI ZOSEN 三菱造船株式会社
LIMITED SHIPBUILDING & ENGINEERING CO., LTD.

船舶技術協會

5

目次

新造船写真集 (No. 103) 7

竣工船……攝津丸, 天山丸, 明晏丸, 東雲丸, 第五眞盛丸,
諏訪春丸, 播洋丸, 民星丸, ちとせ丸, 俊鷹丸,
地洋丸, 第七太洋丸, CASTELLA, HELLENIC SPIRIT,
MARATHON, NAESS CRUSADER, SKOTLAND, SOARES DUTRA,
THARROS, WORLD INDEPENDENCE

改造船……さんとす丸と船内改装写真 18

進水船……富士山丸, 祥和丸, はばな丸, 高征丸, 三河丸,
天海丸, 協慶丸, 三雲丸, 江の浦丸, ATLANTIC SUN

南極観測船宗谷の記録写真 (宗谷乗組 高尾一三氏 撮影) 20

4月のニュース解説 (米田 博) 29

〔附〕 超大型船建造上の技術的問題点とその対策 (造船技術審議会)

☆船舶用軽合金特集 (I. 材料篇)

船舶に利用される軽合金材料について (船舶用軽金属委員会) 35

造船における軽合金の利用 (上) (藤田 勇一) 41

全軽合金製15米巡視艇あらかぜの使用実績をかえりみて (海上保安庁 馬込正敏) 49

造船屋からみた軽合金 (安藤 良夫) 54

浪人の寝言……中型船建造の問題, 鉄鋼価格について (ついでこじ) 58

商船基本設計の一考察 (8) (渡瀬 正麿) 61

鉱油運搬船 COSMIC 号について (川崎重工業株式会社造船設計部) 66

〔折込図〕 COSMIC号 一般配置図 山豊丸, 智利丸 一般配置図 75

新造船の要目 (No. 6) 山下汽船 山豊丸の要目 79

(No. 7) 川崎汽船 智利丸の要目 81

日立商船用タービン主機およびボイラについて (株式会社日立製作所 斎藤 醇二) 83

新造船工事月報 (昭和32年3月末現在) 92

CORDOBOND Hubeva Marine Plastics Inc. 日本総代理店
STRONG-BACK METHOD

船舶の応急修繕用および防蝕、一般維持用として船底弁類、諸機械のケーシング、海水管、シーチェスト、ポンプ類、甲板、諸タンク類、復水器等に使用する特殊合成樹脂です

- BRICKSEAL * VANGO PATCHING MATERIAL 耐火煉瓦保護材
- SERVIRON * VASCOTE-S (Semi Hard Serviron) 各種タンク用防錆塗料
- XZIT FUEL OIL TREATMENT 各種燃料用助燃剤
- BIRD-ARCHER BOILER WATER TREATMENT 各種缶水処理剤



INSULAG 耐, 防火防音保温材
PANELAG

機械的強度の高い保温材で、油、水に対してもその保温に覆板、外装を要せず、ボイラー、タービン、各種蒸気管はもとより、機関室の防火、防熱、防音用として使用されております。左の写真は船舶の機関室天井、ビームおよびガーダーをパネルAGにて防熱を施した状況です。これは日本で初めて試みられたもので、現在多数の施行実績を有するものです。

米国 XZIT CHEMICAL CO., QUIGLEY CO. BIRD-ARCHER CO. 日本総代理店

横浜市中区尾上町5-80
神奈川県中小企業会館内

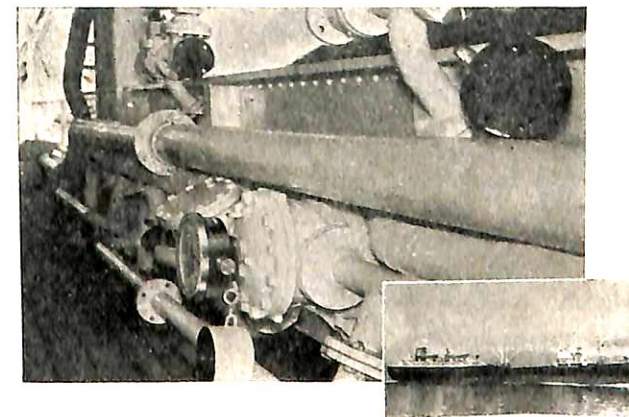
井上商会
井上 正一

電話 ④ 4022.4023
④ 5141 (交換)

特許オーバル流量計
流体の粘度・温度・圧力に関係なく番差0.5%以内の正確計量可能

船舶用としては、

1. 受渡 受入 用
 2. 消費 燃料 用
測定 用
 3. 汽罐 給水 用
- 等々



OVAl オーバル機器工業株式会社

東京都新宿区上落合2-638 TEL東京36局5161 (代表)